

## 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 12 日

上場会社名 株式会社 銀座山形屋  
 コード番号 8215  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山形 政弘  
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)武内 精一

上場取引所 JQ  
 URL <http://www.ginyama.co.jp/>

TEL (03)3545 - 4731

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 ( %表示は対前年同四半期増減率 )

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	4,773	7.3	138	58.9	177	51.9	193	42.2
19年3月期第3四半期	5,149	15.0	336	11.6	368	5.6	334	1.8
19年3月期	6,602	-	286	-	325	-	229	-

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	11	20	-	-
19年3月期第3四半期	19	32	-	-
19年3月期	13	30	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期第3四半期	5,847	4,315	4,315	4,315	73.8	249	74	
19年3月期第3四半期	7,199	4,502	4,502	4,502	62.5	260	49	
19年3月期	6,145	4,403	4,403	4,403	71.7	254	78	

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
	(基準日) 第3四半期末	
19年3月期第3四半期	円	銭
20年3月期第3四半期	-	-

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

中間期、通期とも平成 19 年 11 月 16 日の平成 20 年 3 月期中間決算発表時の業績予想を変更しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注) 詳細は、2 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。〕

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資の増加や雇用環境の改善等により、引き続き緩やかな回復基調で推移してまいりました。その一方では、米国のサブプライムローン問題や原油価格の高騰により、景気の減速感が強まりつつある状況が続いております。

当業界におきましては、天候の影響及びガソリン、灯油、食品等の物価の上昇による購買意欲の冷え込みから大変厳しい環境で推移してまいりました。

このような状況のなか、当第3四半期における売上高は、第1四半期はエルメックス・ハウスの事業撤退等の影響により、また、第2四半期は猛暑、残暑等の天候の影響等により減少したものの、第3四半期は概ね堅調に推移いたしました結果4,773百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。損益面につきましては、売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の削減等を行いました。営業利益138百万円、経常利益177百万円、当第3四半期純利益193百万円となりました。

なお、店舗の状況につきましては、当第3四半期までに3店舗の出店及び3店舗の退店を行いましたので、当第3四半期末における店舗数はグループ合計で46店舗であります。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は5,847百万円となり、前年同四半期末に比べ1,352百万円減少いたしました。主な要因は、社債の償還によるものであります。

当第3四半期末における純資産は4,315百万円となり、前年同四半期末に比べ187百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は11.3ポイント増の73.8%となりました。

### 3. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

1. 税金費用については、一部簡便的な方法を採用しております。

2. その他影響額が僅少なものについては、一部簡便的な方法を採用しております。

#### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期〕 第3四半期末	当四半期末 〔平成20年3月期〕 第3四半期末	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
現金及び預金	2,591	1,093	1,498		1,623
受取手形及び売掛金	864	833	31		786
たな卸し資産	424	467	43		381
その他	134	110	24		95
貸倒引当金	4	5	1		8
流動資産合計	4,010	2,498	1,512	37.7	2,878
<b>固定資産</b>					
有形固定資産	670	599	71		629
無形固定資産	11	10	1		11
投資その他の資産	2,506	2,739	233		2,626
固定資産合計	3,188	3,349	161	5.1	3,266
資産合計	7,199	5,847	1,352	18.8	6,145
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
買掛金	389	500	111		421
一年内償還予定の社債	1,100	-	1,100		-
未払金	136	144	8		248
未払法人税等	22	17	5		34
未払消費税等	34	26	8		29
その他	182	136	46		182
流動負債合計	1,866	825	1,041	55.8	917
<b>固定負債</b>					
繰延税金負債	210	110	100		220
退職給付引当金	505	492	13		593
その他	115	102	13		11
固定負債合計	831	706	125	15.0	824
負債合計	2,697	1,531	1,166	43.2	1,742
<b>(純資産の部)</b>					
<b>株主資本</b>					
資本金	2,727	2,727	-		2,727
資本剰余金	1,174	1,174	-		1,174
利益剰余金	362	330	32	8.8	257
自己株式	77	77	-	-	77
株主資本合計	4,187	4,154	33	0.8	4,082
<b>評価・換算差額等</b>					
その他有価証券評価 差額金	314	160	154	49.0	320
評価・換算差額等合計	314	160	154	49.0	320
<b>新株予約権</b>	-	-	-	-	-
<b>少数株主持分</b>	-	-	-	-	-
純資産合計	4,502	4,315	187	4.2	4,403
負債、純資産合計	7,199	5,847	1,352	18.8	6,145

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第3四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第3四半期	増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	5,149	4,773	376	7.3	6,602
売上原価	2,326	2,203	123	5.3	3,032
売上総利益	2,823	2,569	254	9.0	3,570
販売費及び一般管理費	2,486	2,431	55	2.2	3,283
営業利益	336	138	198	58.9	286
営業外収益	46	45	1	2.2	54
営業外費用	14	6	8	57.1	15
経常利益	368	177	191	51.9	325
特別利益	15	59	44	393.3	13
特別損失	21	19	2	9.5	66
税金等調整前四半期 (当期)純利益	363	216	147	40.5	272
税金費用	28	23	5	17.9	42
四半期(当期)純利益	334	193	141	42.2	229